

小学校外国語活動研究部

I 研究主題

「英語学びノート DVD」を活用した小学校外国語活動の授業提案

II 主題設定の理由

平成20年1月17日に中央教育審議会の答申が発表され、学習指導要領の改訂のねらいとその概要が明確に打ち出された。中でも、小学校段階における外国語活動の導入や中学校段階における授業時数の増加など、英語教育への期待は大きい。

平成23年度小学校外国語活動が小学校の教育課程に位置づけられ、小学校で週1時間の外国語活動が必修化される。これにより、外国語活動の指導技術及び英語力に対する教師の不安、教材づくりや指導計画作成が教師の負担になるなどの課題がある。

所沢市では外国語活動準備委員会を発足させ、移行期における授業時数などに関する基本方針を立て、一定の年間授業時数を確保しながら、小学校における外国語活動の課題を解決し、全面実施に向けて様々な準備を進めてきた。その一つに「英語学びノート DVD」がある。この「英語学びノート DVD」は、①ネイティブの音声に慣れ親しみ、視覚的・体験的に英語に触れ、コミュニケーション能力の素地を養うこと、②所沢独自の教材として、地域の歴史や文化を取り入れることで児童の「ふるさと所沢を愛する心」を育み、児童が所沢について理解を深めながら英語に慣れ親しむことを目標としている。さらに、外国語活動を進めるにあたって課題となる教師の不安や負担を減らすために、手軽に使い、教師にも児童にも親しみやすい内容を目指して制作されている。昨年度は文部科学省の英語ノートの内容に対応して授業が進められるよう、5年生版の教材が制作され、DVD活用方法を掲載した指導計画と併せて市内全ての小学校に配付された。

本年度は、「英語学びノート DVD」6年生版の制作が進められている。本研究部は、これまでの所沢市の取組を踏まえ、市内全ての小学校で課題を解決し、外国語活動に取り組むことができるようにすると同時に、外国語活動の目標に対して共通認識を持ち、指導内容や指導方法など、指導体制について学校間の格差ができないようにしていく必要がある。

そのために、昨年度制作された「英語学びノート DVD」5年生版を活用した授業実践とその使用評価をしながら、6年生版についてもより具体的で効果的な授業の研究を行い、市内全ての小学校にその実践を提案することが重要であると考え、本研究主題を設定した。

研究の内容は、①「英語学びノート DVD」を活用した指導方法の研究 ②「英語学びノート DVD」を活用した市内共通の指導計画作成 ③評価方法や評価規準の作成などである。具体的には、「英語学びノート DVD」を、授業のどの場面でどのように取り入れたらより効果的に学習できるか、評価に必要な観点の例示や評価規準の提示をしていく。また、市内全ての小学校に配付するだけでなく、教育センターと連携を図りながら、「英語学びノート DVD」のキャラクターを生かした教材制作や掲示物作成、インターネットによる指導案及び指導資料のダウンロードシステムの構築、活用を支援するサポート体制の整備も見据えながら、実践的、実用的な研究としていきたいと考えた。

III 研究の内容

1 年間指導計画（6年生版）

外国人語活動年間指導計画2（35時間） コミュニケーションへの関心・意欲・態度 外国語への慣れ親しみ 英語や文化に対する気付き

	単元名・目標	指導内容・主な表現	主なDVDコンテンツ
1学期	アルファベットで遊ぼう。 ①アルファベットの大きな文字に興味を持つ。 ②アルファベットの文字の読み方を聞いて、どの大文字がわかる。 ③積極的にアルファベットの大きな文字を見つけて、読む。	①アルファベットの大きな文字の読み方を知る。 ②アルファベットの文字の読み方を聞いて、大文字を認識する。 ③自らアルファベットの大きな文字を読み、大文字とその読み方とを一致させる。 <主な表現> What's this? / It's... A~Z.	マイムタイム「The Alphabet」 おはなシアター「ペンライトアルファベット」 トコトコストリート「アルファベットアート」 チャンツ・チャンツ「ABC Song」 安松さる「Let's start!」 Phonics
	いろいろな文字があることを知ろう。 ①世界の様々な文字に興味を持つ。 ②アルファベットの小さな文字を見て、その読み方を言い、大文字と一致させる。 ③21～100の数の言い方に親しむ。	①世界の様々な文字に興味を持ち、アルファベットには小文字もあることを知るとともに、21以上の数を言う。 ②アルファベットの小さな文字に興味を持ち、小文字を認識する。 ③自らアルファベットの読み方を読み、小文字とその読み方とを一致させる。 ④身の回りにおけるアルファベット表示に興味を持ち、アルファベットの大きな文字と小文字を書き写し紹介し合う。 <主な表現> What's this? / a~z.	マイムタイム「What number is this?」 おはなシアター「意味のある数字」 トコトコストリート「アロンコス」 チャンツ・チャンツ「30～100」 安松さる「I'm sorry. It's OK.」 Phonics
	友だちの誕生日を知ろう。 ①積極的に友だちに誕生日を尋ねたり、自分の誕生日を答えたりする。 ②英語での月の言い方や、誕生日の言い方に慣れ親しむ。 ③世界と日本の祭りや行事に興味を持つ。	①日本の季節の行事や特徴を伝え、英語での月の言い方を知る。 ②自分の誕生日を言う。 ③誕生日について、まとまった話を聞いて、その概要を理解する。 ④自分や友だちの誕生日について尋ねたり、答えたりする。 <主な表現> When is your birthday? / My birthday is March 3rd.	マイムタイム「When is your birthday?」 おはなシアター「野菜のバースデー」 トコトコストリート「誕生日かみ」 チャンツ・チャンツ「月」 安松さる「What's this? I don't know.」 Phonics
	できることを紹介しよう。 ①積極的に「できること」を尋ねたり、自分の「できること」や「できないこと」を答えたりする。 ②「できる」「できない」の表現に慣れ親しむ。 ③ショー・アンド・テルで発表することに興味を持つ。	①相手の話を積極的に聞き、何ができ、何ができないかを理解する。 ②どのようなことができるかを友だちに尋ねたり、答えたりする。 ③友だちとどのようなことができるかを尋ねたり答えたりする。 ④自分ができることを発表したり、友だちの発表を理解したりする。 <主な表現> Can you swim? / Yes, I can. / No, I can't. / I can swim. I can't swim.	マイムタイム「Can you swim?」 おはなシアター「Caterpillar」 トコトコストリート「トコトコアルへ行く」 チャンツ・チャンツ「できる・できない」 安松さる「Run! Wait!」 Phonics
	道案内をしよう。 ①積極的に道案内をしようとする。 ②建物の名前や道案内の表現に慣れ親しむ。 ③英語で道案内することに興味を持つ。	①町中にある様々な建物の言い方に興味を持ち、理解する。 ②方向や動きを指示する表現を聞いて、理解する。 ③方向や動きを指示する表現を使って相手と目的の場所を教える。 ④実際に道案内をしたり、案内に従って目的地に行ったりする。 <主な表現> Where is the flower shop? / Go straight. Turn right. / Left / stop.	マイムタイム「Where is your flower shop?」 おはなシアター「旅人」 トコトコストリート「一日警官」 チャンツ・チャンツ「道案内と場所」 安松さる「My turn. Your turn. Go ahead.」 Phonics
2学期	行ってみたい国を紹介しよう。 ①自分の思いがはっきり伝わるようにスピーチしたり、積極的に友だちのスピーチを聞いたりしようとする。 ②どの国に行きたいか尋ねたり、答えたりする。 ③世界にはいろいろな英語が話されていることに興味を持つ。	①世界には様々な英語があることを知る。 ②行きたい国とその理由について聞き、概要を理解する。 ③行きたい国を尋ねたり答えたりする。 ④行きたい国を理由とともに言ったり、相手の行きたい国と理由を理解したりする。 <主な表現> I want to go to Italy. / Let's go.	マイムタイム「Where do you want to go?」 おはなシアター「コミック」 トコトコストリート「旅行会社」 チャンツ・チャンツ「国と国旗」 安松さる「Wonderful. Beautiful! Fantastic!」 Phonics
	自分の一日を紹介しよう。 ①積極的に自分の1日を紹介したり、友だちの1日を聞き取ったりしようとする。 ②自分の1日を紹介する。 ③世界には時差があることに興味を持つ。	①世界には時差があることを知るとともに、時間についての表現を知る。 ②先生の1日の生活について話を聞き、その概要を理解する。 ③自分の生活に関する表（生活表）を作成する。 ④作成した生活表をもとに、自分の1日を紹介する。 <主な表現> What time do you get up? / At 7:00. / I go to bed.	マイムタイム「What time is it?」 おはなシアター「石の籠子の発話」 トコトコストリート「目覚まし時計」 チャンツ・チャンツ「日常生活と時間」 安松さる「Would you like...?」 Phonics
	オリジナルの劇を作ろう。 ①積極的に英語を使ってオリジナルの劇をつくり演じようとする。 ②劇の中でセリフを言ったり、聞いたりする。 ③英語で劇を作ることに興味を持つ。	①今までに学んだ表現を振り返り、劇の流れを考える。 ②劇のセリフやジェスチャーを考える。（小道具作成） ③見ている人に伝わるように、セリフやジェスチャーを工夫する。（小道具作成） ④作った劇を発表し合う。 <主な表現>今までに慣れ親しんだ表現。	話し合い・作成・工夫・練習・発表などの活動に応じて利用する。
	将来の夢を紹介しよう。 ①積極的に自分の将来の夢について、理由を含めて紹介したり、友だちの夢を聞き取ったりしようとする。 ②どのような職業につきたいか尋ねたり、答えたりする。 ③様々な職業の言い方に興味を持つ。	①様々な職業の言い方を知る。 ②将来つきたい職業について話されていることを聞いて理解する。 ③将来つきたい職業について、尋ねたり答えたりする。 ④スピーチ・メモをもとに、理由を含め自分の夢を紹介する。 <主な表現> What do you want to be? / I want to be a teacher.	マイムタイム「What do you want to be?」 おはなシアター「キンペンダー」 トコトコストリート「作成中」 チャンツ・チャンツ「職業」 安松さる「Let's be friends.」 Phonics

2 指導事例 Lesson1-1

1 主な表現：アルファベット

Target expressions: A to Z; the capital letters of the alphabet.


2 目標：大文字アルファベットの文字の読み方を知り、アルファベットの読み方と大文字を一致させようとする。

Lesson Goal: Know the pronunciation of the alphabet, and try to match the capital letter to the pronunciation.

3 教材：DVD（50型液晶テレビ）、電子黒板、PC、アルファベットカードカルタ（大文字）

Materials: DVD(TV), Electric Whiteboard, PC, Alphabet Karuta cards

4 展開 Procedure

<p>1 あいさつ Greeting</p>	<p>Hello, everyone! / Hello, ○○sensei. How are you? / I'm fine, thank you. And you? I'm fine, too. Thank you.</p>
<p>2 フォニックス Phonics</p>	<p>・画面に合わせて練習する。 Watching DVD, practice Phonics with the students.</p>
<p>3 DVD 視聴 「マイムタイム」 Watching DVD "Mime time" </p>	<p>①「トコトコと AET は何の話をしているかを考えよう。」と児童に声をかけて、DVD を視聴させる。 Ask the students "Imagine what are Tokotoko and AET talking about?", and show the students DVD. ②「トコトコと AET は何の話をしていたか。」と児童に尋ねる。 Ask the students "What were Tokotoko and AET talking about?" ③今日のトピックはアルファベットであることを教える。 Tell the students that Today's topic is an alphabet.</p>
<p>4 DVD 視聴 「おはなシアター」 Watching DVD "Ohana theater"</p>	<p>・DVD を視聴しながら、児童と一緒に A~Z まで発音する。 Watching DVD, pronounce the alphabet A to Z with the students.</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>目標 アルファベットを使って、カルタゲームを楽しもう！ Today's Target: Use the alphabet letters. Let's enjoy to play Karuta Game!</p> </div>
<p>5 Activity1 「アルファベットを見つけてよう」 "Finding the alphabet"</p>	<p>①A から Z までのアルファベットカードを見せて、英語ノート P. 4, 5 の絵のどこにあるかを尋ねる。 Show the alphabet cards; A to Z, ask to find all the alphabet letters in textbook picture; p.4,5. ②アルファベットを読み上げ、児童に英語ノートから探させて、指を指させる。担任・AET に続いて文字を発音する。 Read the letter, make students find and point it on the textbook. Students repeat after HRT/AET one by one.</p>
<p>6 Activity2 アルファベットカルタ 1 Alphabet Karuta game1 アルファベットカルタ 2 Alphabet Karuta game2</p>	<p>①各グループに 1 セットずつカルタを用意し、机の上に並べる。 Prepare one set karuta card in each group and space out the cards on the desk. ②アルファベットを読み上げる。児童はそのカードをみんなで押さえて、アルファベットの読み方を言う。 Say an alphabet letter. Students holds the card by everyone, and says the pronunciation of the alphabet. ①カルタを机の上に並べる。 Space out the cards on the desk. ②アルファベットを読み上げる。児童はそのアルファベットを見つけて、カードを取る。早く取った児童がそのカードをもらえる。 Say an alphabet letter. Students finds the alphabet, and takes the card. Students who took it early can get the card. ③取ったカードの枚数を発表する。 Announce the number of the card.</p>
<p>7 あいさつ Greeting</p>	<p>That' all for today. See you next time! / See you!</p>

3 評価規準例

	コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	外国語への慣れ親しみ	言語や文化に関する気付き
趣旨	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとしている。	活動で用いている外国語を聞いたり話したりしながら、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しんでいる。	外国語を用いた体験的なコミュニケーション活動を通して、言葉の面白さや豊かさ、多様なものの見方や考え方がることなどに気付いている。
レッスン1	<p>☆マイムタイムからどんな場面か考えている。</p> <p>☆トコトコストリートからどんな会話がされているか、つかもうとしている。</p> <p>○アルファベットに興味を持って積極的に探したり、見つけたりしようとしている。</p> <p>○身の回りにあるアルファベットの大文字を探そうとしている。</p> <p>○かるたゲームで遊んでいる。</p>	<p>☆リズムに合わせて、ABCソングを歌っている。</p> <p>○アルファベットの大文字の読み方を聞き、その文字と一致させている。</p>	<p>☆アルファベットアートの中から、大文字のAを探している。</p> <p>○アルファベットに興味を持ち、絵の中からそれらを探している。</p>

4 「英語学びノート DVD」 6年生版

(1) 活用の仕方

DVDの内容	活用の仕方
マイムタイム	<p>【単元の導入】</p> <p>人の動作や場面設定から、内容を予想させることで単元の学習についてイメージを膨らませるとともに、興味・関心を高める。</p>
おはなシアター	<p>【授業の導入】</p> <p>キャラクターのやり取りから、本時の表現の使い方や意味を想像させ、興味関心を喚起する。</p>
トコトコストリート	<p>【授業の展開】</p> <p>ネイティブの発音・会話に慣れさせる。</p> <p>【授業・単元のまとめ】</p> <p>内容をどの程度理解しているか把握する。</p>
チャンツ・チャンツ	<p>【毎時間】</p> <p>本時のねらいとなる単語や文について、繰り返し聞き、ネイティブの発音・会話に慣れさせる。AETと体を動かしながらチャンツのリズムに合わせて、スキットや単語の発音を繰り返し練習できる。</p>
安松ざる	<p>【毎時間】</p> <p>単純明快な一言英会話は、クラスルームイングリッシュに取り入れられる。</p>
フォニックス	<p>【毎時間】</p> <p>アルファベット一つ一つの音の違いに気づかせる。</p>

(2) 「英語学びノートDVD」制作スタッフとの連携

制作スタッフと会議を重ね、教師が使いやすく、児童にも親しみやすいものとするために、研究員の意見を取り入れてもらった。



DVD専門スタッフ

IV 実践例

1 英語劇づくりの授業提案

(1) 「英語学びノート DVD」 6年生版 Lesson8 の制作

①児童が自分たちで英語の劇づくりをする単元設定

2年間の学習のまとめとして、自分たちで英語の劇づくりをする単元を設定した。英語ノートでは、「大きなかぶ」の劇づくりが紹介されているが、ここでは物語の限定はしないこととした。

②児童が、無理なく楽しく活動できる指導計画作成

3時間配当 (週に1時間ずつ進行・AETとのTT)

題名	Lesson 8 第1～3時 オリジナルの劇をつくらう
第1時	<p>ステップ1</p> <ul style="list-style-type: none"> ○既習表現の復習をする。 <p>ステップ2</p> <ul style="list-style-type: none"> ○HRTとAETが劇の手本を見せる。 <ul style="list-style-type: none"> ・場面カードを選ぶ。 ・既習表現カードを選ぶ。 ・2～3分で演じる。 <p>ステップ3</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分たちも劇をつくることを知り、準備をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・場面カードを選ぶ。 ・既習表現カードを選ぶ。
第2時	<p>ステップ4</p> <ul style="list-style-type: none"> ○物語を考え、ワークシートに記入する。 <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ場面と既習表現から物語を考える。 ・役割分担をする。 ・ワークシートに記入する。 ・読み合わせをする。 (時間が余ったグループは小道具作成も可とする)
第3時	<p>ステップ5</p> <ul style="list-style-type: none"> ○グループごとに劇の練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・台本の読み合わせをする。 ・動きをつけてリハーサルをする。 <p>ステップ6</p> <p>☆英語劇発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1グループ2分～3分の劇を披露する。

③児童の活動を支援する、教材の製作

児童が、自分たちで劇をつくるために教材を製作し、活動を支援した。この教材は、来年度以降各校で活用ができるよう、整備を予定している。

○場面カード

- ・児童の想像力をかきたてるような絵や写真を用意した。



ぼくたちは「山」で
「Do you like」を
つかって劇をします！

○既習表現カード

- ・これまでに学習した表現を選択できるようにした。またカードには、意味が分かる程度のイラストを載せた。



○既習表現の掲示物

- ・英語劇を実践するにあたり、日頃から掲示物を目にすることで、児童が英語に慣れ親しめるようにした。



※この他、ジェスチャーの参考・集合のBGM・ワンポイントレッスンに「英語学びノートDVD」5年生版を使用した。

(2) Lesson8 の授業実践及びビデオ撮影

①第1時の指導案

第6学年2組 外国語活動 指導案

1 単元名 Lesson 8-1 オリジナルの劇をつくろう

2 本時の学習

(1) 目標 劇づくりの仕方を知り、自分なりのイメージをもつ。

(2) 展開 1/3時

HRT	鈴木 進也
AET	Tomas Dack
JTE	井上 さゆり

活動内容	児童の活動	担任の活動	○指導上の留意点 ◎教材・機器 ◆評価の観点と方法
Greeting 2分	○元気よくあいさつをする。 Good morning Tom. I'm fine, thank you. And you?	○元気よくあいさつをする。 A: Good morning everyone. A: How are you today? A: I'm fine, thank you.	
Warm up 3分	「Dansinglish」 を歌う	Let's sing a song.	
Review 5分	○既習表現を再確認し、声に出す。	○既習表現の復習をする。 H: Do you remember? H: What's this? A: OK, in Japanese, please. A: Yes, that's right.	◎場面カード 既習表現カード ○劇づくりに活用できるよう、丁寧かつ素早く復習させる。
Activity 10分 15分 8分	○教師の手本を見て、学習の見通しを持つ。 ○グループで相談し、場面と既習表現のカードを取りに行く。 ○グループで物語の内容を相談する。	○教師が劇の手本を見せる。 1 場面カードを選ぶ。 Let me see... We choose ○○○ card. 2 既習表現カードを選ぶ。 Look at the blackboard. We choose ○○○ card. 3 担任とAETで相談する。 I'm OK. Are you ready? 4 劇を演じる。 We are going to show the play. ○グループごとに場面カードと既習表現カードを選ばせる。 H: Let's choose the cards. ○グループごとに物語の大まかな内容を考えさせる。 H: Let's plan your play.	○児童が劇づくりを想起しやすいように実際の作業と同じ手順で手本を見せる。 ○劇の長さは2分程度。手本も長すぎないように留意する。 ○劇を見る視点を与える。 ○状況に応じたカードを選択させるよう、声かけをする。 ◆大まかな物語の展開について発表する(行動観察)
Greeting 2分	○あいさつをする。 See you again.	H: That's all for today. ○あいさつをする。 A: See you again.	

②授業の様子

○担任とAETの見本劇



○グループ毎に話し合い



○ワークシートに記入



○板書



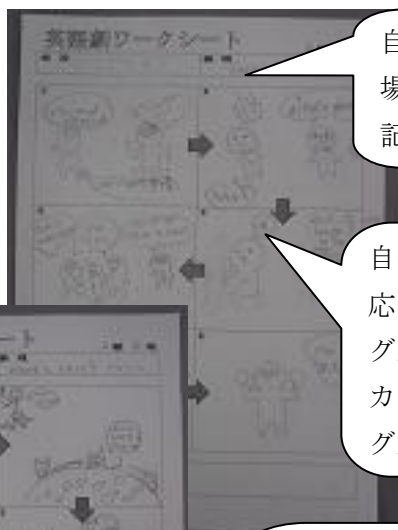
○発表会

○小道具や場の準備



○演技の練習

③授業の中で、児童が作成したワークシート



自分たちが選んだ
場面と既習表現を
記入する欄。

自分たちの力に
応じて、英語で書く
グループもあれば、
カタカナで書く
グループもあった。

多くの班が
裏面まで利用
してシナリオ
を作っていた。

漫画のような形で、場の
設定や立ち位置、登場の
仕方なども打ち合わせる
ことができる。

第5学年1組 外国語活動指導案

平成22年11月19日（金） 第3校時

活動場所 5年1組教室

指導者 教諭 清水 篤史

1 単元名 英語ノート1 Lesson7 「What's this?」

2 児童の実態について

本学級の児童は、1年生の頃から外国語活動に取り組んでおり、英語に親しんできている。これまでは、歌やチャンツ、スキットの練習、ゲームなどの活動を中心に取り組んできた。がんばって発話しようとする意欲がみられ、ゲームなどの活動も楽しみながら進めている。ただ、発話中心のゲームでは、熱中すると雑な英語で話そうとしたり、つい日本語で活動を進めてしまったりすることがある。なかなか自分から友だちに声をかけられない児童もいる。

3 単元について

(1) 積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成

本単元では、自然に英語が口に出る、話してみたいと思わせる環境作りに重点を置く。学校生活や日常生活で、児童と関わりのある題材を扱い、児童が英語の音声に親しみを持てるような場の設定を工夫したい。児童が英語を聞いて反応する、英語を聞いて活動することもコミュニケーション能力の素地の一つとして大切にしたい。

(2) 外国語への慣れ親しみ

外国語活動の目標には、「外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しみ、聞く力を育てることが適当である」とある。基本となる英語表現をたくさん聞かせるために、映像教材（DVD）を活用したり、簡単なゲームを通して教師が何度も繰り返し発話したりする。体験的に「聞くこと」を通して、音声や表現に慣れ親しませる活動を中心に取り組んでいく。

(3) 言語や文化に対する気付き

例えば、日本語で「三角形」には、数字の3があるが、英語「triangle」にはない。でも、インドネシア語では「sugi tiga」と言い、「tiga」は数字の3を表している。他言語を紹介することも積極的に取り入れながら、言語や文化に対する興味・関心を高めたい。

4 単元のねらい

本単元では、本単元の基本表現である **What's this?** を自然な形で使う場面として、「これは何でしょう？ゲーム」や「すごろくゲーム」、図形を使っていろいろなものを作り、クイズを出し合う活動を取り上げた。たくさんクイズを出して **What's this?** をたくさん聞かせ、クイズの出し方や見せ方を工夫することで、「これは何だろう？知りたい！言ってみよう！」と児童に思わせ、自然に英語が口に出てくるようにしたい。児童が日本語で発言しても、無理に言い直させることはせず、担任が英語で言い直して聞かせることで、たくさん英語を聞かせ、英語の音に慣れさせたい。第3時と第4時で扱う「図形」は、第3学年の算数の図形に関する補助教材「タングラム」の用紙を使用する。タングラムは、決められた数の三角形や四角形を使って、いろいろなものを作る活動であるが、ここでは本来のねらいとは違い、いろいろなものを作るための材料として扱うのみとする。しかし、三角形や四角形など、他教科で出てきた「図形」を取り上げることによって、児童にとって英語がより親しみがあり、現実味のあるものとなるはずである。また、本単元は、所沢市教育委員会が制作した「英語学びノート DVD」を取り入れた。このDVDは、英語ノートのレッスンプランを参考にして制作されており、映像を観ることで、英語の基本表現や所沢独自の文化に触れることができる。毎時間、授業の導入に取り入れることで、これは何だろうと考えさせたり、知りたいな、言いたいなという児童の意欲を高めたりする手立てとしたい。

5 単元評価規準

- (1) コミュニケーションへの関心・意欲・態度
- ・ **What's this?**と聞かれて、それが何かを考えている。
 - ・ **What's this?**と進んで尋ねたり、答えたりする。
- (2) 外国語への慣れ親しみ
- ・ **What's this?**と聞かれて、それが何かを考え、答えようとしている。
 - ・ **What's this?**と聞かれて、それが何かを考えたり、答えたりする。
- (3) 言語や文化に関する気付き
- ・ 英語と日本語との違い気付きながら、いろいろなものの言い方を知る。

6 単元の計画

時	目 標	活 動	評価規準 (評価方法)
1	What's this? という質問を知る。	Let's chant 「チャンツ・チャンツ」 DVD 「マイム・タイム」 Activity 「これは何でしょう?ゲーム」 ①見て ②聞いて ③触って ④においをかいで 絵本 「なんでしょ、なんでしょ」	【関心・意欲・態度】 ・ What's this? と聞かれて、それが何かを考えている。(行動観察) 【言葉や文化への気付き】 ・ 英語と日本語との違いに気付きながら、いろいろなものの言い方を知る。(行動観察)
2	What's this? の表現に慣れる。	Let's chant 「チャンツ・チャンツ」 DVD 「おはなシアター」 Activity1 「シルエットクイズ」 Activity2 「すごろくゲーム」 絵本 「きいろいのはちょうちょ」	【外国語への慣れ親しみ】 ・ What's this? と聞かれて、それが何かを考え、答えようとしている。 (行動観察)
3	What's this? の表現に慣れ親しむ。	Let's chant 「チャンツ・チャンツ」 DVD 「トコトコストリート」 Activity1 「すごろくゲーム」 Activity2 「いろいろなものを作ろう」	【外国語への慣れ親しみ】 ・ What's this? と聞かれて、それが何かを考えたり、答えたりする。 (行動観察)
4	自分が作ったものについて、互いに尋ねたり、答えたりする。	Let's chant 「チャンツ・チャンツ」 DVD 「所沢じまん」 Activity 「クイズ大会をしよう」	【関心・意欲・態度】 ・ What's this? と進んで尋ねたり、答えたりする。(行動観察)

7 本時のねらい

- (1) **What's this?**と聞かれて、それが何かを考えたり、答えたりする。
- (2) **What's this?**の表現に慣れ親しむ。

8 本時の展開 (3 / 4 時間)

活動内容	児童の活動	担任の活動	○指導上の留意点 ◎教材・機器 ◆評価の観点と方法
1 あいさつ	・全体であいさつをする。	・あいさつをする。	
2 DVD 視聴 「トコトコストリート」 	①DVD を視聴する。 ②DVD にどんなものが出てきたかを尋ねる。 ③もう一度 DVD を視聴して確認する。 ④実物を見せて、 What's this? と話し合う。		◎DVD ◎笛、マッサージ器、楽器 ○DVD に出てきたものを確認する。
3 Activity1 「すごろくゲーム」	①黒板に絵カード4枚を貼り、スタート線を引いてコマを置く。 ②トランプを1枚引き、出てきた数だけコマを前に進める。 ③コマの止まったところにある絵カードをめくり、児童に見せないで、 What's this? と尋ね、 It has two legs. It has ... とヒントを与え、絵カードの動物が何かを当てさせる。 ④当たったら、児童にトランプを引かせて、コマを進める。 ⑤コマの止まったところにある絵カードをめくり、児童にだけ見せる。(担任は見ない) ⑥児童に絵カードを見せながら、 What's this? と尋ね、 Does it have two legs? Is it...? などと尋ねていく。		◎動物絵カード ◎すごろく用のコマ ◎トランプ ○本時の基本表現 What's this? をたくさん聞かせることを心がける。 ○児童が日本語や単語で答えた時は、英語に置き換え、 It's ... と、文で答える。 ◆ What's this? と聞かれて、それが何かを考えたり、答えたりする。(行動観察)
4 Activity2 「いろいろなものを作ろう」  	①黒板に三角形、四角形などの図形を1枚ずつ貼っていき、何かを考えさせる。 担：図形を1枚選んで黒板に貼り、 What's this? と尋ねる。 児：「三角形。山。」など、考えたものを言う。 担： Do you think so? 等と話しながら、違ったら No, it isn't. と言って続ける。正解なら、 It's a rice ball. と答えを言う。同様に、もう一つの例を示す。 児：考えたものを次々に言っていく。 ②図形用紙を配り、はさみで切っているいろいろなものを作るように指示する。 ③作業中は、 What's this? What are you making? Is this...? と声かけをしながら机間指導をする。 ④できた作品から黒板に貼らせる。 ⑤時間がきたら全員の作業を止めて、黒板上の作品について What's this? Is it...? と話し合う。 ⑥最後にもう一度 What's this? と確認したり、 Who made this? と作成者を尋ねたりしながら、児童に返却していく。		◎図形用紙 (教師用) ◎図形用紙 (児童用) ◎はさみ、のり ○2つの例を示す。 ○図形は、全部使っても使わなくてもいいことにする。 ○児童が日本語で答えたら、 Is it a rice ball? と、英語で言い直す。 ○図形を台紙に貼らせる。 ○ What's this? をたくさん聞かせることを心がける。 ◆ What's this? と聞かれて、それが何かを考えたり、答えたりする。(行動観察)
5 あいさつ	全体であいさつをする。		

V 成果と課題

1 成果

- ・「英語学びノート」5年生版を活用した授業実践とその使用評価をすることができた。
- ・DVDの積極的な活用を図り、「マイムタイム」「おはなシアター」などを効果的に取り入れた。
- ・6年生の英語劇の授業では、DVD制作に関わった。児童にとって魅力ある英語劇づくりができるような流れを提案することができた。
- ・毎時間の指導案をA4用紙1枚にまとめ、学級担任が見やすく使いやすいものとした。
- ・指導案に日本語と英語を併記することで、AETや外国語活動支援員との共通理解を図りやすくした。
- ・英語ノートに対応し、「英語学びノートDVD」の内容も併記した年間指導計画を作成できた。来年度からの年間指導計画として、各小学校でそのまま活用することができるものに仕上がった。今年度中に市内各小学校に配付予定である。
- ・「英語学びノートDVD」制作スタッフと会議を重ね、現場の意見も多く取り入れた内容となった。
- ・6年生の全単元における評価規準例を提示し、通知表や指導要録に記入するための参考例を示した。

2 課題

- ・市内共通の指導資料として活用するために、今後は出前授業や研修会を通して、指導資料の活用を促す必要がある。
- ・実際の授業で検証できたのは、一部の単元であった。「英語学びノートDVD」が完成次第、実際に各小学校で使ってもらいながら、改善していきたい。
- ・実際に外国語活動の授業を進めていくには、「英語学びノートDVD」の他にも絵カードやカルタ等の教材・教具も必要である。来年度は、「英語学びノートDVD」のキャラクターや内容を生かした教材や掲示物の作成もしていきたい。
- ・『英語ノート』を素材として展開する小学校英語活動用マルチメディア教材の製作と評価』によると、英語学びノートDVD視聴による学習への意欲は認められたが、コミュニケーション意欲の向上については課題が残った、との研究報告がある。英語を使ってコミュニケーションをとろうという意識を高めるため、授業の中でどのように「英語学びノートDVD」を活用していくのか、今後も工夫し、検証していく必要がある。
- ・『英語学びノートDVD6年生版』を活用した指導案に沿った検証授業を実施した。

1回目 椿峰小学校 6年生 指導者 田中 歩教諭 Lesson 7

2回目 北野小学校 6年生 指導者 岡田実華教諭 Lesson 6

授業者の反省として、共通していたことは、以下の2点である。

反省1：児童が落ち着いて45分間の授業に取り組むことができた。これは映像の面白さ、リズムを通して学ぶ英語表現が学習意欲を高め、集中した学びの姿が見られた。視聴する回数を（INPUT）重ねるごとに、児童から自然につぶやく声が出始める。単元を通して、繰り返し、スパイラルに活用する効果がある。

反省2：英語学びノートDVDの各カテゴリーのねらいを深く理解し、コミュニケーションの素地を育てる。また、抽象から具体へ発問の質も高めていく必要がある。